

第 10 回

会員向け研修会 開催報告

6月15日(日)に京都市の京都テルサにおいて、第10回「会員向け研修会」を開催しました。奈良教育大学国語教育講座教授で当協会評議員の棚橋尚子先生による講演に、一〇五名の方がご参加くださいました。

講演の部
要旨文字を学ぶ立場に立つて
日本語表記を考える

奈良教育大学教授・当協会評議員

棚橋 尚子 先生



日本語の表記は世界でも稀に見る複雑な体系を持っています。漢字、平仮名、片仮名、アルファベット、アラビア数字など、複数の字種がひとつの文の中に混在している上、漢字にも音訓複数の読み方があります。句読点の打ち方や送り仮名の付け方、書字方向も、「緩やか」に規定されているにすぎません。このように自由度が高い一方、正書法が確立されていない日本語表記を、子どもたちはどのように学んでいるのでしょうか。

日本語表記は漢字仮名交じり表記で、分かち書きをしないという特徴があり、全てを平仮名で書くところと区切るかが不明瞭になります。もともと私達の先祖が使っていた大和言葉は、非常に概念が曖昧なものでした。「はな」という大和言葉は「もの」の中心にあつて勢いのあるところ」という概括した意味だと言われていますが、漢字を移入することによって「花」「鼻」と、概念をより先鋭化し、綿密にし、明らかにしてきました。このような経緯を重ね、漢字の使い分けは大変難しくなりました。

漢字の字形も実は大変「緩やか」で、常用漢字表では字形の許容が多種示されています。しかし実際の教育現場では、とめやはねなど細

部の字形にこだわって指導されているという傾向があります。教師が漢字の細部の形にことさらに気を配ると、漢字指導が字形習得に偏り、ひいては図形の指導という事態になりかねません。

漢字指導が字形指導に偏ると、その先の語彙指導が疎かになってしまいがちです。例えば「海」の書き取りをさせたとき、「かいがん(海岸)」と「かいがい(海外)」では正答率が大きく変わります。これは子どもたちが「海」という漢字そのものを書けないということではなく、語になったときに馴染みがないため書けないことが原因です。漢字が言葉につながり、語彙が広がっていくことで思考力や表現力が育成される、という意識を持って指導しなければなりません。

つまり、漢字指導はまさに学力の中核を支えているのですが、「書く」という学習負担はどうしても避けられません。漢字圏の人には、漢字を想起する際に手を動かす「空書」と呼ばれる行動がしばしば見られます。最近の研究では、漢字の習得には手を動かすということが連動していることがわかってきています。そのようにどうしても書かなければいけないのならば、いかに楽しいことと結びつけて書かせるかが重要となってきます。

漢字を「見慣れる」ことも漢字習得において有効です。また、漢字にルビが振ってあれば、学力の高い生徒でもかなりの読解力を示したという実践もあります。このことも漢字力によって学習習熟度が決まってくることの裏付けといえます。小学校では音読が重視されますが、国語の教科書以外の本もぜひ音読させていたいただきたいと思っています。

生涯にわたっての漢字力拡大の鍵は小学四年生までと言われています。小学四年生までで漢字の要素となる形をほとんど習得し、それ以降に習う漢字はそれまでの偏や傍の組み合わせとなるからです。また学年が上がるにつれ、繰り返し学習への抵抗も増していきます。そんな中、いかに丁寧な、興味深く漢字を指導するか。やはり「漢字そのものの面白さ」に気づけるように漢字指導を展開していくべきでしょう。漢字がどのように作られ、どういうものなのか、より高次からのアプローチを行ったり、教科を横断して漢字指導を行ったりするのも効果的かもしれません。もちろん、指導は丁寧で、評価は緩やかという態度を忘れるべきではありません。何より、子どもたちの意欲を高めるように工夫することが必要だと考えます。

「単なる文字の指導」から脱却し、漢字を通して日本語の特質を考

第10回 会員向け研修会 開催報告

■ 会員発表の部 要旨

巷は誤字だらけ！

水野 靖夫さん

私は十年以上、巷にあふれる誤字の写真を撮ってきました。本日はその中から数点の写真と誤字の傾向をご紹介しますと思います。



誤字のパターンには、そもそも違いを意識していないように見受けられるものがあります。例えば「サイトウ」という名字の「サイ」。「と」のえる／ひとしい」という意味の「斉」とその旧字体「齊」、「いむ／とき」という意味の「齋」とその旧字体「齋」が混同されて使われていることなどがあります。

間違いが多いのが同音訓異義語です。例えば「保健」と「保険」、「解放」と「開放」などです。また、字形が似ているために別の漢字を使ってしまうこともしばしば見られます。

す。「水源池」「縮少」「除行」などです。いずれも正しくは「水源池」「縮小」「徐行」です。「水源池」は「水」「源」に影響されて「さんずい」の「池」を書いてしまうのでしょうか。

さらに手書きの看板などには「衆」を「蒙」にしたり、「柳」を「柳」にしたりと、手書き故に存在しない文字を作り出してしまっていることもよくあります。「材」や「財」の旁を「戈」と書いている例を複数見つけました。右はらいの漢字は安定感があるように感じるので、ついこのように書いてしまったのかもしれない。

そして皆様も経験があると思いますが、点やハネが付く・付かないの間違いです。「簿」「薄」「博」「敷」「縛」など音読みがハ(バ)行になるものは、旧字体にすると点が付いている「甫」を含みますので、それに伴って点が付きまします。一方、音読みがハ行ではない「専」「恵」「穂」などは、点が付かないと覚えておくべきではないでしょうか。

「地下鉄神田駅」の看板をよく見ると、「鉄」が「鉄」と金偏の中に「正」という字を入れて書かれていました。担当者を確認したところ、「鉄」という漢字は「金を失う」と書くため、縁起が悪いのでこのように「誤字ではなくロゴ」として「書いたそうです」。

普段見慣れている街にも、意外に誤字はあふれているものです。カメラを片手に誤字を探しに街に出てみるのも、楽しいかもしれません。

サポーター交流会を開催しました

午前中には漢字教育サポーター第1期生、第2期生、第3期生合同の交流会を開催し、日本全国から43名の方にご参加いただきました。それぞれの立場から有意義な情報交換がなされました。

参加したサポーターより

● 漢字教育サポーターとして依頼を待っている状態よりは、学校や学習塾、生涯学習団体などに自分から積極的に売り込んでいくことも必要だと思った。

● 講座を行う際には、聴講者をひきつけるためにも「つかみ」の話が必要だということがわかった。今後のサポーター活動に活かしていきたい。

● 自分が漢字をよく学んでいることや、漢字教育サポーターであることをふだんから周りに宣言しておくのもいいのでは。予想もしていなかったところからオファーがある可能性もある。

● 近くに住んでいるサポーターで勉強会を立ち上げ、今後も研鑽を続けていく予定である。



- 日 時 ● 平成26年9月21日(日)
13時30分～16時30分(13時00分 受付開始)
- 場 所 ● I.M.Y会議室 6階 第3会議室(愛知県名古屋市中区葵3-7-14)
- ア ク セ ス ● 地下鉄東山線 千種(ちくさ)駅 1番出口 徒歩2分
地下鉄桜通線 車道(くるまみち)駅 3番出口 徒歩2分
ＪＲ中央線 千種(ちくさ)駅構内から地下通路を通り、
地下鉄千種駅1番出口 徒歩2分
- 参 加 費 ● 無料(会員でない方のご同伴も歓迎いたします。)
- プ ロ グ ラ ム ● 講演 山本 真吾氏(白百合女子大学文学部教授)

テーマ『中国の漢字・漢文から日本の漢字・漢文へ』

プロフィール

1961年生まれ。広島大学文学部卒業、同大学大学院博士課程後期単位取得退学。広島大学文学部助手、三重大学人文学部専任講師、助教授を経て、現在、白百合女子大学文学部教授。博士(文学)。第25回新村出賞受賞。主な著書に、『平安鎌倉時代における表白・願文の文体の研究』(汲古書院、2006年)、『図解日本の文字』(三省堂、2011年)、『三省堂新用字辞典』(三省堂、2011年)、『漢文資料を読む』(朝倉書店、2013年)。

講演概要

古代の日本人は、日本語を書き表すための独自の文字を生み出す前に、漢字・漢文を日本語の文字表現として借用し、徐々に日本語の中に浸透させてゆきました。それゆえ、現代でも漢字は日本語の書き言葉の中できわめて重要な位置を占めています。このことは、学界の常識に属する知見ですが、しかし、もう一歩突っ込んで事実関係を調べてみると、意外に分かっていないことや一般に言われていることとは異なる点もあるようです。

今回のお話は、そういった漢字・漢文の日本的受容の問題について、現在、私が取り組んでいる敦煌文献の漢字資料の調査報告も踏まえつつ、この方面の最新の研究動向を紹介してみたいと思います。

会員発表 1名(発表は30分以内)

※会員発表後に、簡単な交流会を予定しています。

- 聴講者定員 ● 120名
- 参加申込方法 ● 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

FAX・郵送…同封の「第11回会員向け研修会 申込用紙」(挨拶文裏面)に必要な事項を記入の上お送りください。

Eメール…申込用紙の必要事項(氏名・電話番号・会員番号・住所(送付先に変更がある場合のみ))をメール本文に記載してお送りください。

※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

※参加の可否については9月中旬までに郵便もしくはEメールにてお知らせします。

- 申込締切日 ● 平成26年9月5日(金)(協会必着)

研修会にてご自身の研究を発表される会員を募集します!

ご自身の日ごろの漢字学習・研究の成果を発表しませんか?(発表時間は30分以内です。)

発表希望者は、同封の「第11回会員向け研修会 申込用紙」の発表希望者の項目にチェックし、発表したい内容の要旨(A4用紙1枚以内)を添付してFAXもしくは郵送でお送りください。Eメールによるお申し込みの場合は、要旨を添付ファイルでお送りください。希望者多数の場合はこちらで選考させていただき、その結果は9月中旬までにお知らせします。

漢字を因数分解する文化

魅力

佐竹秀雄

落語に、漢字が読めなくて大騒ぎになる、「平林」という演目の斬がある。商家の丁稚が手紙を届ける使いに出されるのだが、その丁稚は物覚えが悪くて、おまけに漢字の読み書きができない。教えられた行き先の苗字を唱えながら歩いていくのだが、途中で行き先がわからなくなる。そこで、周りの人に、届ける手紙の宛て名を読んでもらうことにする。最初の人は「たいらばやし」と読み、二人目は「ひらりん」と読む。三人目は漢字を分解して、「平」を「一・八・十」に、「林」を「木・木」に分ける。その結果、名前は「イチハチジュウのモクモク」だと教える。さらに四人目は、分解した漢字の読み方を変えて「一つと八つとお、キ、キ」だと教える。丁稚は「たいらばやしか、ひらりんか、イチハチジュウのモクモク、一つと八つで、トッキキキ」と大声を上げながら家を探し歩く。

落語だから、極端な話になっているが、現実の世界でも、人名の読み方はむずかしい。苗字でも「上村」「金谷」のように、一通りに決まらないものも少なくない。まして、名前となると、最近はいわゆるキラキラネームと呼ばれるものがある、とても簡単には読めない。例えば、「姫星(きてい)」「美望(にやも)」など、読み方を聞いてもすぐには納得しがたいものもある。

ところで、右の落語の中では、「平」と「林」を、それぞれ構成している部分に分けて読もうとしている。まるで漢字を因数分解しているかのようなのだ。漢字は字形を分解できることで、いろいろと遊べる。

有名なところでは「戀」がある。これを「糸、糸、言、心」に分解して、都々逸で「戀という字を分析すれば、愛し、愛し、と言う心」とうたわれている。ただ、分解するだけではなく、意味のことまで考えている点がしやれている。

同様に、旧字体の「櫻」では、「木・貝・貝・女」の四つに分解して、次のようになる。

*二階(貝)の女が気(木)にかかる。

*十八(木)の女が二階の下に立つ。

新字体では、「松」の「きみ(公)」とぼく(木)とが差し向かい、「茶」の「二十人、木にのぼる」などがある。しかし、旧字体の「戀」や「櫻」のような艶っぽさもなく、やや面白みに欠ける。

また、和歌の世界では、小倉百人一首に、『古今集』から採られた文屋康秀の歌がある。

*吹くからに秋の草木のしをるれば

むべ山風を嵐といふらむ

「山からの風が吹くと、たちまち秋の草木がしおれてしまう。なるほど、だから山風を嵐(あらし)と言うのだなあ」と、「嵐」を「山風」に分解する遊びが盛り込まれている。

その他、江戸時代初期の笑い話集と言える『醒醉笑』にも、次のような話が見える。

来客があつたとき、弟子が「水邊に酉あり、山に山を重ねんや」と尋ねる。それに対して、師匠が「丁へ夕々、無用」と答える。すると、客が「玄田牛一め」と言った。

弟子と師匠の会話は「酒(サンスイ偏に酉)を出(山十山)そうか」「人(ノ十人)が多(タ十タ)いから出さないでよい」というもの。それに対する客のセリフは「畜生(玄十田十牛十)め」。なかなかよくできている。

それにしても、昔からこんなふうには、人々がいろいろと漢字で遊んできたのは、漢字の「鬼一木力」によるものなのであろう。

佐竹秀雄(当協会現代語研究室室長)

国立国語研究所室長、武庫川女子大学言語文化研究所長を歴任。専門は現代語の表記論、文章論、言語行動論。『文章を書く技術』(ヘレ出版)、『アイリーコンサイス国語辞典』(三省堂)ほか著書、編著書多数。



第2回 かんじ、つなぐ、きずな

今、あなたに贈りたい漢字コンテスト

応募期間 2014年7月10日(木)～11月4日(火) 消印有効

お問い合わせ先 「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」事務局

☎075-211-3593 www.kanken-kizuna.jp
(受付:10時～17時 ※土日祝・8/15を除く)

かんじ つなぐ きずな 検索

漢字同好会からのお知らせ

全国の漢字同好会の情報は、漢検ホームページからもご覧になれます。
<http://www.kanken.or.jp/project/edification/associations.html>

北海道漢字同好会

漢字塾

● 平成26年8月16日(土)
 13時～16時
 所 ● 札幌市中央区北2条西7丁目
 内容 ● 1級・準1級・2級の三つのグループに分かれて勉強します。漢検対策がおもな内容です。

漢遊会

● 平成26年9月20日(土)
 13時～16時
 所 ● 札幌市中央区北2条西7丁目
 内容 ● 第18回「漢字読み書き合戦」使用する教材を事前にお送りいたしますので、参加希望の方は早めにお知らせください。

漢字塾

● 平成26年10月18日(土)
 13時～16時
 所 ● 札幌市中央区北2条西7丁目
 内容 ● 1級・準1級・2級の三つのグループに分かれて勉強します。漢検対策がおもな内容です。

参加費

● 無料
 ● 初めて参加される方は前日までに電話等でお申し込みください。

お問い合わせ

● 北海道漢字同好会 事務局
 TEL/FAX
 011-691-5123
 Eメール
 kanji0764@nifty.com

福島県漢字同好会

漢字講演会

● 平成26年9月14日(日) 14時～
 所 ● 郡山市市民交流プラザ 大会議室
 所 ● 「名前と漢字」
 講師 ● 笹原宏之氏(早稲田大学教授)
 聴講 ● 無料
 申込方法 ● 当日来場可

10月例会・学習会

● 平成26年10月5日(日) 14時～
 所 ● 郡山市市民交流プラザ 第三会議室
 聴講 ● 無料
 聴講 ● 人に関する漢字の字源について

お問い合わせ

● 福島県漢字同好会
 024-923-1078

新潟漢字同好会

講演会「長恨歌」

● 平成26年9月20日(土)
 10時～12時
 所 ● 東新潟コミュニケーションセンター
 (万代市民会館2階)
 〒950-0082 新潟市
 中央区東万代町9番1号

講演会

● 近藤輝世氏
 「長恨歌」漢詩の朗読と解説

申込方法

● 同好会会員は、返信ハガキにて、その他の方は左記お問い合わせ先へご連絡ください。

申込締切日

● 平成26年9月10日
 事務局 太田
 090-8640-8761

石川漢字友の会

平成26年8月例会・学習会

● 平成26年8月24日(日) 15時～
 所 ● 〒920-0919 金沢市
 南町2-1 北國新聞会館10階108教室
 聴講 ● 「部首から知る漢字の本義・パート③」
 講師 ● 北島茂治氏
 申込締切日 ● 平成26年8月13日

夏季懇親会(三田良信・当会顧問の「北國風雪賞受賞」祝賀会を兼ねて)

● 平成26年8月24日(日) 17時～
 所 ● 金沢市南町4-1、金沢ニューグランドホテル2F「白鷺(和食)」
 テーマ ● 「三田良信・当会顧問の足跡を辿って(フライドで紹介)」
 参加費 ● ￥7,000
 申込締切日 ● 平成26年8月13日

お問い合わせ

● 石川漢字友の会
 isikawa-kanji@pos.nsk.ne.jp

平成26年9月例会・学習会

● 平成26年9月28日(日)
 所 ● 〒920-0919 金沢市
 南町2-1 北國新聞会館10階108教室
 聴講 ● 「漢字教育サポーター」と「漢字教育士」育成制度の紹介
 講師 ● 宮前外彌旺氏
 申込締切日 ● 平成26年9月17日

お問い合わせ

● 石川漢字友の会
 isikawa-kanji@pos.nsk.ne.jp

平成26年10月例会・講演会

● 平成26年10月26日(日) 15時～
 所 ● 〒920-0919 金沢市
 南町2-1 北國新聞会館10階108教室
 聴講 ● 「仮題 室生犀星の文学的功績と足跡」
 講師 ● 笠森勇氏
 申込締切日 ● 平成26年10月14日

申込方法

● ハガキ、FAX、またはEメールでお申込みください。
 (電話での連絡は、ご遠慮願います。)

お問い合わせ

● 〒921-8036 金沢市
 弥生2-13-6
 事務局 宮前外彌旺
 FAX
 076-260-3427
 Eメール
 isikawa-kanji@pos.nsk.ne.jp

横濱漢字の会

9月定例会

● 平成26年9月13日(土)
 9時15分～12時
 所 ● かながわ県民サポーターセンター
 1501号室
 〒221-0083 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

参加費

● 無料
 ● 会員による漢字学習・自由課題発表(内容未定)

申込方法

● 平成26年8月31日までに連絡ください。
 代表 藤本正史
 fujimoto501@gmail.com

初めて一級に合格しました！

漢検の最高峰一級に初めて合格した会員の喜びの声ををご紹介します。

定年退職後、二級に合格、準一級に二回目で合格、一級は、一回目二〇四点、二回目二二点で不合格でした。頑張つて覚えたつもりでも十歩進んで九歩後退の毎日でしたが、慌てませんでした。九歩後退でも一歩は前進している、いつかは合格できると確信したからです。

「漢検漢字辞典」と「漢検四字熟語辞典」をはじめ、市販の各種問題集を購入し、教員の娘に「合格したら何かあげるよ」と励まされ、毎日四時間、益暮れなしの足掛け五年での合格でした。机での勉強はもちろん、妻の買い物の手伝いや病院での診察にも、これらの教材を携行しました。

書店の一級問題集には限りがあつて受検教材には苦勞しましたが、手に入る問題をマスタすれば合格できることがわかりました。

合格するまで毎回受検するつもりでしたが、二回目受検後、合格の可能性が見えるまで受検を中断しました。過去問の自己採点結果が、六回中五回合格ラインを超えて受検を決めました。それが、平成二十五年第二回検定で、得点は合格点ぎりぎりの一六〇点でした。

六十歳過ぎてても、毎日一歩ずつでも、合格できることが証明でき、感激も一入です。今後は、満点合格の力をつけ、韓国語と中国語の勉強も続けたいと思います。

新潟県 水上さん

満を持しての挑戦で見事一級に合格されました。九歩の後退で弱気にならず、一歩の前進に希望を見出した前向きな姿を見習いたいと思います。

退職後の時間をいかに過ごすのか—そのひとつとして漢字検定を選びました。二級、準一級に挑戦する過程で百尺竿頭ひゃくせきかんとうという言葉を知り、漢字検定における百尺竿頭は一級合格だと思ふようになりました。

平成二十五年第二回検定で合格することができました。三回目の挑戦でした。

一、二回目の不合格を考えたとき、過去問と参考書で学ぶだけでは、とても合格は無理だと感じました。一級に関する書籍は数に限られている上に、内容も似通っているように思いました。そこでインターネット上の問題も利用させていただき、四字熟語については、できなかったものの漢字、読み、意味を全てパソコンに入力しました。自分の四字熟語辞典ができたと言つたらいいでしょうか。

それなりの自信を持って臨んだ三回目でしたが、今までに目にしたこともない漢字や言葉に戸惑いました。（試験でなかったら、知らなかった漢字や言葉に出会うことは嬉しいと思う時もあるのですが…）

幸い合格することはできましたが、知らないことの方が多いことを胆に銘じております。

「百尺竿頭に一步を進む」という言葉も漢検挑戦の中で学んだ言葉でした。

埼玉県 西川さん

努力に努力を重ね、到達できる最高点よりさらに先に進まれて見事合格！自分だけの四字熟語辞典も奏功したようです。

私は平成二十五年第二回、四度目の挑戦で一六八点で初合格しました。幼少期に漢字に興味を持ち始め、小学二年生の時に母の勧めで十級から受検しました。高校一年生で準一級を取得し、残すは最高峰の一級のみとなりました。初めて書店で問題集を開いた途端、あまりの難解さに眩暈めまいがするほどの衝撃を受けました。しかし問題を数多く熟すうちに徐々に慣れ、初受検で六割超えと予想以上の出来に、「合格はそう遠くない」と確信しました。大学に入学し、六月に三度目を受検するも結果はあと七点で不合格。あと一歩だけに切歯扼腕せきごうあつたんたる思いでした。そこで十月の検定にむけて苦手分野である四字熟語を徹底的に鍛えました。一級配当だけで千語以上もあり、漢字の意味を全て憶えるのは相当大変でしたが、努力の甲斐あり、遂に念願の初合格を果たしました。二年分の苦勞が報われ、滂沱ぼうたの涙を流しながら欣喜雀躍きんきぞくしました。十代のうちに合格できたことが何よりも嬉しく感じました。

私は大学で日本文学を専攻しているので、培った語彙力を活かして近現代の著作物を熟読じゆく玩味がんまいしていこうと考えています。そして今後一級を継続して受検し、生涯百回合格という目標を掲げ、日々研鑽に励んで参ります。

秋田県 鈴木さん

十代のうちの合格、おめでとつございませう！百回合格ということは少なくともあと33年以上……私どもも頑張つて参ります！

私は平成二十五年度第二回検定において遂に一級に合格しました。平成二十一年度第二回検定で準一級に合格してから四年をかけて漸く一級を取得しました。会場へは十一回足を運び、検定を受検しました。

受検は三級から始めました。市販の問題集を反復して準二級、二級、準一級と順調に合格しました。二級に合格したとき、これで検定は終いにしようと思いましたが、そこで「準一級を受けて不合格ならばここまで」という気で受けると、受かりました。

そこで一級を目指すことにしました。しかし一級は市販の問題集ができた程度では到底合格は叶いません。頑迷固陋に陥らんとしたときに「漢字を語る会 楷の木」の募集を見つけました。そして思い切つて入会しました。月一回の定例会（横浜地区）にはほぼ参加し、知識を貯えていきました。そして一五〇点台が三回続き、遂に二六五点で十一回目の受検で一級に合格しました。自宅のパーソナルコンピュータで「合格おめでとうございませう」の文字を見たときの感動は一生忘れられることはありません。

今後は常用漢字と準一級漢字を疎かにしないで生涯学習として取り組んでいきます。

東京都 雨宮さん

漢字同好会のサポートもあつて見事合格されました。やはり同じ志を持つ仲間と交流し勉強することは、モチベーションの維持に最も効果的なのです。

平成二十五年度第二回の検定で念願の一級に合格する事が出来ました。三回目の挑戦で、点数は一六八点でした。

漢検は、これまでに二級と準一級にいずれも一回で合格していたので多少は自信があったのですが、やはりさすがは一級。かなりの難関であるということを改めて思い知らされました。そこでまず一級配当漢字の音訓を繰り返し覚える事から始めました。とは言っても音訓をただ機械的に暗記するのではなく、熟語や成語の形にして記憶に定着するようにしました。四字熟語については、漢検四字熟語辞典の一級配当の熟語を全て覚えるようにしました。文章題対策として、主に明治期の著作を中心に電車の中や休日読書することに努めました。中でも中江兆民の「二年有半」や中島敦の「李陵」は、繰り返し読みました。

合否結果サービスで合格を知った時は、ほっとすると同時に徐々に嬉しさがこみ上げてきました。しかし合格したとはいえ、合格点も決して高いものではないので、これまで得た知識をさらに深めるためにも、そして満点合格を勝ち取るためにもこれから一級を受検し続けていこうと思っています。

兵庫県 新里さん

一級配当の音訓は大変数が多く苦勞されたことと思います。文章題対策として書物を読むことも、漢字のみならずさまざまな知識を得ることに役に立つと思われまふ。

平成二十五年度第二回検定で初合格。きっかけは、古雑誌の回収日に漢検三級の問題集が目にとまったことです。家に持ち帰り中味を見ては、いつか私も挑戦してみたいと思っていました。

それから十数年経ってしまいましたが、あるテレビ番組が背中を押してくれました。六十を過ぎてからの挑戦です。

まず二級から始め、学習期間四ヶ月で、次は準一級を八ヶ月で、いずれも高得点で二度ですぐ一級に合格。この調子で一級もと勢い込んだのですが、遅々として進まず、よし、こうなったら焦らず、目標を二年後と定め、毎日こつこつと頑張りました。しかし、結果は二六六点と合格ラインには程遠いものでした。恐るべし一級の壁。合格するまではと自分に誓い、ようやく七回目で二六六点で合格。何度も数点足らずで悔しい思いをしただけに、大きな封筒が届いた時は「ついにやったあ」と大喜びしました。四年の歳月を費やしましたが、好きな漢字だからこそ楽しく頑張れました。今後も一級合格者に恥じないよう、ますます語彙を増やし、また挑戦したいと思っています。現在二級合格を目指している方、どうかあきらめず、この喜びを味わってください。

愛知県 今津さん

思わぬところで漢検の問題集や問題に出会い、一級まで勝ち取られました。合格の時の嬉しさは筆舌に尽くしがたいものがありますよ。

合格された皆様、本当におめでとうございます！

初合格を目指している方も、合格の暁にはぜひ感動の声をお寄せください。

投稿の方法は P.8 をご覧ください。

会員通信 13 号の「初めて一級に合格しました！」に校正ミスがございました。お詫びを申し上げますとともに下記の通り訂正いたします。

広島県 吉田様 誤「後世可畏(後世おそるべし)」▶ 正「後生可畏(後生おそるべし)」

会員通信への 投稿募集中心!

ご感想・ご投稿を
お寄せ頂いた方から5名
漢検オリジナル
消しゴムを
プレゼント!!

会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

● 常時募集

(掲載できかねる場合もございます)

一級に初めて合格しました!

この一年で、難関の一級に初めて合格した方の喜びの声と合格のポイントを紹介します。

以下の項目に沿って原稿をお書きください。

項目 ● ① 合格したか

② 何回目の挑戦で合格だったか

③ 合格に向けて工夫したこと(勉強方法等、励みになったこと)

④ 合格したときの気持ち・感想

⑤ 今後の目標

対象 ● 平成25年度第2回(10月)～平成26年度第1回

(6月)の検定で初めて一級に合格された方

字数 ● 項目①～⑤までで500字以内

漢字一字に込める想い

自分の好きな漢字、自分にとって思い出深い特別な漢字など、漢字一字に込められた想いについてのショートエッセイを募集します。その漢字一字と漢字にまつわるエピソードを、題名を必ず添えて500字以内(題名を含む)でお書きください。

投稿方法

原稿とともに会員番号、氏名(ペンネームで掲載希望の場合はペンネームも添えること)、電話番号を明記し、郵便・FAX・Eメールでお送りください。

※Eメールの場合は原稿書式を「Microsoft Word」もしくは「一太郎」とし、添付ファイルでお送りください。

締切日

2014年9月30日(火) (協会必着)

投稿先

郵送 〒600-8585

京都市下京区烏丸通松原下五条烏丸町398
公益財団法人 日本漢字能力検定協会
漢検生涯学習ネットワーク担当

FAX 075-352-8310

Eメール lifelong@kanken.or.jp

すべての投稿を掲載できるわけではありません。原稿はこちらで一部割愛・校正させていただきます。

「漢字同好会メンバー・仲間」募集板

「漢字同好会のメンバーを集めたいのだが、どうすればいいか分からない」「同じ県内で一緒に勉強できる仲間がいないかな?」といった悩みをお持ちの方はいらっしゃいませんか? 研修会内の交流会に参加できない会員の皆さまのご要望に応え、同好会メンバーや仲間の募集板を会員通信内に開設します! 募集内容や自己紹介などと、誌面に掲載してもよい連絡先を明記の上、お送りください。

例 ● 京都府内で漢字の勉強会をしませんか? 一級合格に向けて勉強方法などを共有して高めあえればと思います。
漢検花子 60才 京都市在住 Eメール: kanken-hanako@xxx.jp

漢字・日本語に関するお薦めの書籍紹介

書名、著者名、出版社名、発行年を明記して、お薦めの理由を250字以内にまとめてお送りください。

漢字に関するパズル・クイズ

子供からお年寄りまで楽しめる面白い漢字パズルを募集します。問題と解答を必ずセットにしてご投稿ください。(未発表作品に限ります。)

例 ● 漢字クロスワードパズル、子供向け漢字クイズ(学習漢字のみ使用)、難読漢字パズル等

日本漢字能力検定 平成26(2014)年度

個人受検 検定日程

	検定日	申込受付開始日	申込締切日(協会必着)
第2回	平成26年10月26日(日)	平成26年7月1日(火)	平成26年9月26日(金)
		※ただし、書店での申込受付は平成26年9月22日(月)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成26年9月26日(金)協会必着	
第3回	平成27年2月8日(日)	平成26年11月1日(土)	平成27年1月8日(木)
		※ただし、書店での申込受付は平成27年1月5日(月)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成27年1月8日(木)協会必着	

● 申込締切日(協会必着)を厳守してください。

● 申込締切日以降に願書が到着した場合や、検定料の支払期限が過ぎた場合は受け付けできません。



公益
財団法人

日本漢字能力検定協会

本部 〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下五条烏丸町398
※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

インターネットで漢検情報を!!

漢検

検索

<http://www.kanken.or.jp/>



0120-509-315

月～金9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

※検定日とその前日にある土・日は窓口を開設

※検定日・申込締切日は9:00～18:00

